

決算及び経営活動の現況 (補足資料)

2025年2月14日
株式会社 東京エネシス



株式会社 東京エネシス

決算及び経営活動の現況（2024年度中間期以降）

【2024年度業績予想修正】（2024年11月5日公表『決算及び経営活動の現況』より抜粋）

【修正前】

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
900	32	36	30

参考：ROE 4.5%

【修正後】

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
680	10	15	15

参考：ROE 2.2%

本資料は、2024年11月5日公表の『決算及び経営活動の現況』に記載した、2024年度業績予想修正の「原因・分析・対策」についての現状と業績予想に対する進捗状況などを補足するものです。

- 当社は、2024年11月5日、受注高の伸びが堅調である一方で、売上高の伸び悩み（前年度の受注高が低い水準に留まったこと、当期受注分の売上高貢献が少なかったこと）を踏まえ、「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。また、同日公表の『決算及び経営活動の現況』において、業績予想が下方修正となった原因を分析し対策を取り纏めております。
現状では、既に取り組んでいた対策に加えて、新たな取り組みを行うことで、着実に受注などの成果に繋がっております（6ページ）。
- 受注高は、「対策」の推進、全社一丸となった営業活動により、第2四半期に引き続き第3四半期も堅調に伸びております。「一般産業・その他市場」が牽引し、12月の単月の受注高は期中最大となりました。引き続き、第4四半期でも更なる受注の伸長を図ります（4・6ページ）。一部案件での期ずれや失注により、期末目標を900～950億円程度と見込んでおります（3ページ）。
- 売上高は、第3四半期まで概ね漸増しており（4ページ）、好調な「一般産業・その他市場」をはじめ、「電力市場」「再生可能エネルギー関連市場」においても期末に向け、売上高を積み上げてまいります（5ページ）。また、営業利益は、第1四半期はマイナス計上となったものの、第2四半期以降は着実に改善が図られており、いずれも通期では修正後の業績予想を達成できる見通しです（4ページ）。
- 手持工事高は高水準を維持し、2025年度以降に繋がる手持工事高を十分確保できる見通しです（3ページ）。

以上

2024年度第3四半期決算の概要（連結経営成績）

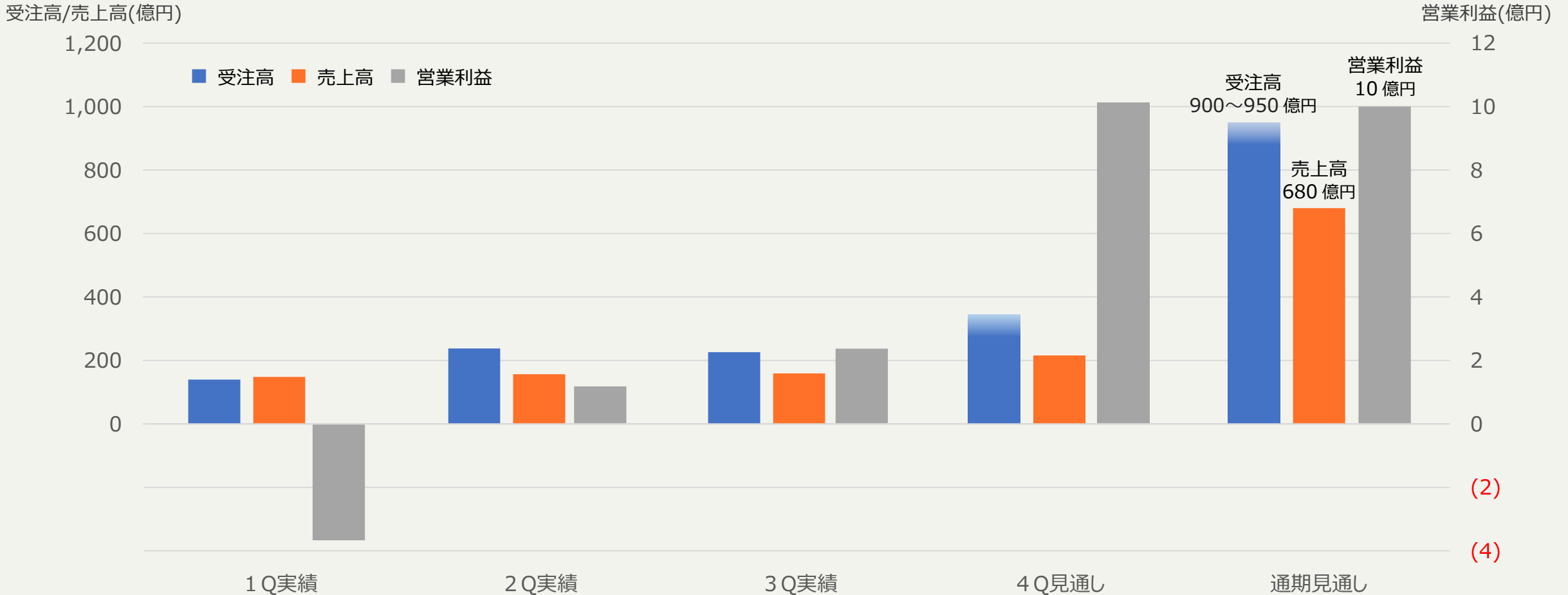
中間期決算（2024年11月5日）で公表した業績予想の下方修正に対して、売上高は順調に推移している。利益面では、第3四半期でも累計では営業損失となっているが、中間期と比較して約2億円改善しており、通期では業績予想の達成を見込む。

第3四半期の受注高は約604億円（前年同期比46.4%増）となり、順調な伸びを見せているが、中間期決算時点から一部案件での期ずれや失注により、通期では900～950億円程度と見込んでいる。また、手持工事高は約1,116億円となり高水準を維持し、2025年度以降に繋がる手持工事高を十分に確保できる見込み。

（単位：百万円）	業績予想 (2024.11.5)	第3四半期 実績	進捗率	ポイント
売上高	68,000	46,462	68.3%	第3四半期では公共施設の空調・電気工事、変電設備新設・増強工事の進捗により順調に推移
営業利益	1,000	▲12	—	
経常利益	1,500	611	40.7%	利益面については、原価率の高い工事が比較的少なかったことや為替変動による差益、資産の効率化に向けた政策保有株売却益、経費削減などにより、いずれも中間期から改善
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,500	1,091	72.7%	

2024年度四半期毎の推移（連結）

受注高・売上高は、四半期毎では第3四半期まで概ね漸増しており、第4四半期でも更なる伸長を図る。また、営業利益についても第1四半期はマイナス計上となったものの、第2四半期以降は着実に改善が図られており、いずれも通期では修正後の業績予想を達成できる見通し。
※利益の通期見通しには、昨今の金利上昇に伴う影響は織り込んでおりません。

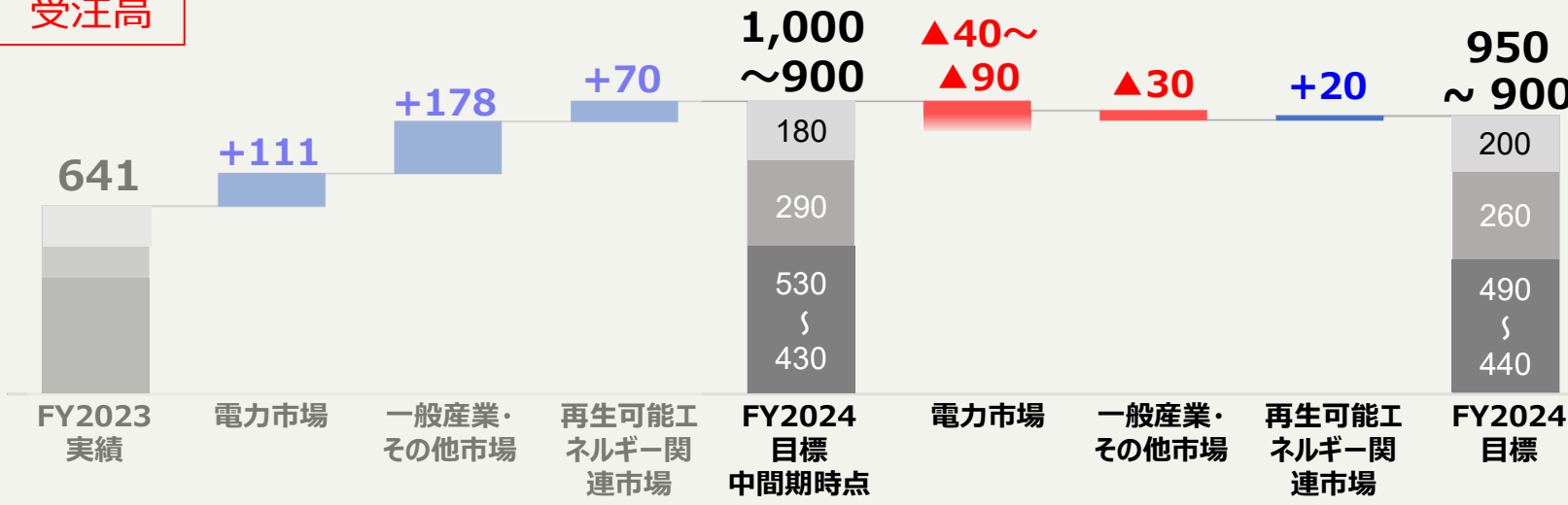


2024年度中間期目標・業績予想からの推移（連結）

[単位：億円]

- ：再生可能エネルギー関連市場(水力、バイオマス、太陽光・蓄電池)
- ：一般産業・その他市場(一般産業、公共インフラ、海外事業他)
- ：電力市場(火力、原子力、変電)

受注高



電力市場

発電所脱炭素化改造工事の期ずれなどにより減少
また、脱炭素オークション案件の入札結果による変動が想定される

一般産業・その他市場

コジエネ案件の失注などにより減少するも公共施設の空調・電気工事が牽引し前年度比で大幅に増加する見込み

再生可能エネルギー関連市場

水力発電所改修工事やバイオマス発電所の長期運転保守受託などの受注により増加する見込み

売上高



電力市場

変電設備新設・増強工事などの好調な工事進捗により増加する見込み

一般産業・その他市場

化学工場・製鉄所案件などの一部失注・延伸により減少するも、公共施設の空調・電気工事などにより前年度比で増加する見込み

再生可能エネルギー関連市場

太陽光のオンサイトPPA設備工事など、計画通り順調に推移

2024年度業績予想修正の原因と対策の進捗

【第3四半期に実施した主な対策と実施状況】

「顧客への設計支援による仕様決定早期化／早期受注」

「最新の知見を取り込む積算データベースの構築」

「海外を含む調達ルートが多様化により、競争力がある資機材を調達」

「基幹協力会社との早期工事情報共有による作業員確保の共同シミュレーション」

⇒様々な顧客へ工事計画提案を実施し、既に一部案件では前倒し受注の見込み

⇒歩掛り・単価などのデータベース構築を開始し、一部今年度での運用開始

⇒海外メーカーとの協働により、価格や納期面で優位な機器を選定し入札実施

⇒中長期の工事受注を強化し、協力会社との共同シミュレーションにより工事を計画

原因	対策	成果															
当期売上高に繋がる案件の不足	【営業活動の進化】 <input checked="" type="checkbox"/> 営業組織の集約・統合 ・新規開拓営業要員の増員 ・全国に支店を新設し営業活動を効率化 ・営業ノウハウの蓄積・共有化 <input checked="" type="checkbox"/> 顧客への設計支援による仕様決定の早期化	<div data-bbox="1617 506 2458 549" style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 第2四半期以降は前年度比で受注高が大きく増加 </div> <div data-bbox="1567 585 2497 621" style="text-align: center;"> 2023～2024年度 四半期毎受注高実績・見通し </div> <div data-bbox="1567 621 2497 1306"> <p>単位：億円</p> <p>FY2023 / FY2024</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力市場 一般産業・その他市場 再生可能エネルギー関連市場 <table border="1"> <caption>四半期毎受注高実績・見通し (単位：億円)</caption> <thead> <tr> <th>四半期</th> <th>2023年</th> <th>2024年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1Q</td> <td>139</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>2Q</td> <td>138</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>3Q</td> <td>135</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>4Q</td> <td>229</td> <td>296~346</td> </tr> </tbody> </table> </div>	四半期	2023年	2024年	1Q	139	140	2Q	138	238	3Q	135	226	4Q	229	296~346
四半期	2023年	2024年															
1Q	139	140															
2Q	138	238															
3Q	135	226															
4Q	229	296~346															
当期売上高に繋がる案件の失注	【積算/調達力強化】 <input checked="" type="checkbox"/> 積算に特化した組織を新設 <input checked="" type="checkbox"/> 最新の知見を取り込む積算データベースの構築 <input checked="" type="checkbox"/> 海外を含む調達ルートが多様化により、競争力がある資機材を調達																
人手不足による現場活動量の低下	【労働力強化】 <input checked="" type="checkbox"/> 新卒・経験者採用の強化（25年4月新卒入社予定者数：22～24年度平均比約2.2倍） <input checked="" type="checkbox"/> 施工組織の集約・統合による流動的な人員配置 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹協力会社との早期工事情報共有による作業員確保の共同シミュレーション <input checked="" type="checkbox"/> 顧客への設計支援や提案営業強化により早期受注																

実施済
 3Q実施

免責事項：

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。



暮らしのより確かな基盤をつくる

ENERGY×SYSTEM

地域へ、社会へ、そして未来へ